

所属	総合文化コース	職名	教授	氏名	中井 幸比古	大学院における研究指導担当資格の有無	(有)		
Ⅰ 教育活動									
教育実践上の主な業績				年月日		概 要			
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）									
				2006 年 4 月～		①毎時間、講義のためのプリント・復習教材を作成し、授業の要点がわかりやすくなるように配慮した。 ②種々の録音資料を学生に聞いてもらい、多様な音声の実態を伝えるとともに、調音音声学の基礎を固めるべく努めた。また、音声分析ソフトによる研究方法を紹介した。			
2 作成した教科書、教材、参考書									
				2006 年～		講義のための授業プリントに加え、下記『音声研究入門』（2005）・『はじめて学ぶ日本語学』（2011）・『日本語アクセント入門』（2012）の執筆箇所、「日本語アクセントの三つの問題」『神戸外大論叢』65-1（2015）などを用いて、日本語の音声・アクセントなどに関する授業を行った。			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等									
4 その他教育活動上特記すべき事項									
Ⅱ 研究活動									
著書・論文等の 名 称			単著・共 著の別	発行または発表の年月 （西暦でも可）		発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称		編者・著者名 （共著の場合のみ記入）	該当頁数
〔上方ことばと江戸ことば〕「お国ことば」「ラジオ・テレビと標準語」			単著	2016 年 1 月		『日本文化事典』丸善			92-93、94-95、 116-117
『小豆島諸方言のアクセント資料』			共著	2017 年 3 月		徳島大学		◎中井幸比古、岸江信介、 峪口有香子、島田治	11-134
「京都弁の癖」			単著	2018 年 1 月		『日本語学』2018 年 1 月号			26-36
宮崎県西臼杵郡高千穂町岩戸方言について－四つ仮名を中心に－			単著	2018 年 4 月		神戸外大論叢, 68(2)			93-110
近世以降の「西陣」の地理・地名をめぐって			単著	2018 年 7 月		京都地名研究会第 49 回地名フォーラム			口頭発表
「各地の方言：近畿」			単著	2018 年 10 月		『日本語学大辞典』東京堂出版			851-852
「国語辞典の意味記述をめぐって－着尺・御召・緋			単著	2019 年 3 月		『方言・音声研究』11 号			67-81

について」					
「京都西陣地区の地点表示法　－図子を中心に－」	単著	2019 年 4 月	『地名探究』 17		29-34
「関西人はエセ関西弁を見破れるか」	単著	2019 年 9 月	『方言の研究』 5		115-139
「京都方言における「おへこ」の語義・語源について」	単著	2020 年 3 月	『方言・音声研究』 12 号		77-80
Ⅲ 学会等および社会における主な活動					
～現在	日本語学会会員・2009 年 6 月～2012 年 5 月編集委員				
～現在	日本音声学会会員				
～現在	日本語教育学会会員				
～現在	日本言語学会会員				
～現在	社会言語科学会会員				